

一人の新しい人は、人を創造した神の定められた御旨を成就する

(土曜日——午前の第一の部)

メッセージ 7

一人の新しい人の実際的な出現のために、
わたしたちの思いの霊の中で新しくされる

聖書：エペソ 2:15. 4:22-24. 3:16-17 前半. I コリント 6:17.

ローマ 12:2. コロサイ 3:10-11

- I. コロサイ第3章10節には、新しい人の創造と新しい人の更新があります。新しい人の創造は、十字架上で完成されましたが、新しい人の更新は、なおも進行しています。
- II. 新しい人はキリストによって創造されました。しかし、信者たちはこの創造にあずかる必要があります——エペソ 2:15. コロサイ 3:10：
- A. 新しい人を生み出すために、まず十字架上でキリストの創造する働きが必要でした。そして、これはすでに達成されました——エペソ 2:15。
- B. この創造にあずかるために、毎日わたしたちは新しくされることを通して、古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着る必要があります——4:22-24. コロサイ 3:10。
- III. 新しくされるとは、神の要素がわたしたちの存在の中へと加えられて、わたしたちの古い要素に置き換わり、それを除き去ることで—啓 21:5 前半. II コリント 5:17. ローマ 12:2. II コリント 4:16：
- A. 新しいさは神です。ですから、新しくなるとは、神になることです——ローマ 6:4. 7:6：
1. 神は永遠に新しいです。彼は、ご自身の常に新しい本質をわたしたちの存在の中へと注入し、わたしたちの全存在を新しくします——12:2. コロサイ 3:10。
 2. 神の霊は、神の属性をわたしたちの内側の各部分に注入することによって、わたしたちを新しくします。この神の属性は、永遠に新しく、決して古くならず、永存し、変わることがありません——啓 21:5 前半。
- B. 更新する霊は、新しい人の神聖な本質をわたしたちの存在の中へと分け与え、わたしたちを新創造にします——テトス 3:5。
- C. 神はわたしたちの環境を案配し、少しずつ、日ごとに、わたしたちの外なる人を朽ちさせ、わたしたちの内なる人を新しくします——II コリント 4:16。
- D. わたしたちは、復活の中にある神聖な命の更新する能力によって新しくされます——ヨハネ 11:25. II コリント 1:9. 4:14. ピリピ 3:10。
- IV. わたしたちにとって重大で重要なものであるエペソ第4章23節によれば、古い人（古い社会生活）を脱ぎ捨てて、新しい人（新しい召会生活）を着ることのかぎは、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることにあります：
- A. 再生された霊は、新しくされた霊です。この新しくされた霊は増強されて（エペソ 3:16）、わたしたちの魂のあらゆる部分に侵入し、それらを征服し、占有しなければなりません（17節前半）。
- B. 命を与える霊としてのキリストは、今やわたしたちの霊の中にいます（II テモテ 4:22. I コリント 6:17）。これら二つの霊は共にミングリングされて、思いの霊を形成し

ます：

1. わたしたちの思いが新しくされるのは、命を与える霊としてのキリストがわたしたちの再生された人の霊とミングリングされているという認識を通してです。
 2. 命を与える霊がわたしたちの再生された霊の中に住み、わたしたちの再生された霊とミングリングされて、わたしたちの思いの中へと広がるとき、このミングリングされた霊はわたしたちの思いの霊となります。このミングリングされた霊によって、わたしたちの思いは新しくされます。
- C. わたしたちの思いの霊の中で新しくされるとは、内側のことであり、内在的なことです——ローマ 12:2：
1. わたしたちの思いの霊の中で新しくされると、わたしたちの論理、哲学、思想、観念、心理を徹底的に変えます。
 2. 新しくされるとは、実際の霊と聖書の啓示によって、宇宙、人類、神などに関するわたしたちの宗教、論理、哲学において、わたしたちの思いが変えられることです。さらには、十字架の朽ちさせる働きを通して、キリストの思いがわたしたちの思いに置き換わることです——テトス 3:5. ローマ 12:2. エペソ 4:23. ローマ 8:6. ペリピ 2:5. II コリント 4:16。
- D. この時代に神の定められた御旨が成就されるのは、わたしたちすべてが進んで思いの霊の中で新しくされることよってのみ可能になります。
- V. 更新する霊は、わたしたちの再生された霊とミングリングされて、一つのミングリングされた霊となって、わたしたちの思いの中へと広がります。それは、古い人を脱ぎ捨てて新しい人を着ることによって、わたしたちの全存在を新しくして、新しい人の肢体とするためです——エペソ 4:22, 24：
- A. 古い人を脱ぎ捨てるとは、わたしたちの古い自己を否み、放棄することです——22節. マタイ 16:24。
 - B. 新しい人を着るとは、キリストが新しい人を創造した時に達成したものを適用することです——エペソ 2:15. 4:24。
 - C. 十字架はわたしたちの古い人を脱ぎ捨てるためですが、その霊は新しい人を着るためです：
 1. 古い人を脱ぎ捨てるために、わたしたちは十字架を自分自身に適用しなければなりません——マタイ 16:24。
 2. 新しい人を着るとは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、キリストを生き、キリストを大きく表現することです——ペリピ 1:19-21 前半。
- VI. 思いが新しくされることは、一人の新しい人の満ち満ちた出現と実際的な実行のためです——エペソ 4:22-24. コロサイ 3:10-11：
- A. わたしたちの思いが新しくされる必要があるのは、わたしたちの霊的振る舞いやわたしたち個人の道徳的行為のためだけではなく、一人の新しい人の出現のためです。
 - B. わたしたちが思いの霊の中で新しくされることでの中心点は、一人の新しい人です——エペソ 4:23-24。
 - C. わたしたちの一生の中で、わたしたちの国民的また民族的な思想が建て上げられてきました。一人の新しい人の出現のためには、この思想は新しくされなければなり

ません——コロサイ 3:10-11 :

1. わたしたちの天然の思想と国民的な思想は、わたしたちの民族と文化の背景にしたがって教育され、建て上げられました。これは、新しい人の出現にとって最大の妨げです。
 2. 一人の新しい人が完全に出現するようになるためには、わたしたちの国民性と文化にしたがって建て上げられてきたわたしたちの思いが徹底的に新しくされることを、わたしたちは経験しなければなりません—— 10-11 節。
- D. 一人の新しい人が実際的に実現される唯一の道は、わたしたちの思いが新しくされることによります——ローマ 12:2, エペソ 4:23-24, コロサイ 3:10-11 :
1. わたしたちは生活の中で、実際的に、毎日、わたしたちの思いの霊の中で新しくされる必要があります。そうでないと、主が新しい人を持つ道はありません。
 2. 一人の新しい人が実現するのは、わたしたちが矯正されたり教えられたりすることによるのではなく、神の霊がわたしたちの思考に浸透することによります。
 3. わたしたちは祈りで、一人の新しい人の実行の中に入りたいという願いを持つ必要があります。こういうわけで、わたしたちは主に、わたしたちの思いを新しくし、わたしたちの内側の存在を造り変えてくださるよう求める必要があります——ローマ 12:2。
 4. 毎日、わたしたちは古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着る必要があります。このために、わたしたちは一つ霊から飲み、実際の日常生活のあらゆる面において、わたしたちの思いの霊の中で新しくされる必要があります——エペソ 4:22-32。
 5. わたしたちがその霊から飲むとき、彼はわたしたちの存在のあらゆる部分に浸透します—— I コリント 12:13 :
 - a. わたしたちがその霊から飲むとき、彼が最初に浸透する魂の部分は思いです。
 - b. その霊から飲むなら、わたしたちは思いの霊の中で新しくされます。このように新しくされることは、わたしたちすべてを一人の新しい人とします——エペソ 4:23-24。
 6. わたしたちの思いが新しくされたとき、一人の新しい人が実際的に出現します。そしてキリストは真にすべてとなり、すべての中になります——コロサイ 3:10-11。

務めの書物からの抜粋 :

わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによって
新しい人を着る

エペソ人への手紙第 2 章 15 節は新しい人が十字架上で創造されたとわたしたちに告げていますが、エペソ人への手紙第 4 章 22 節はわたしたちが古い人を脱ぎ捨てなければならないとわたしたちに告げています。エペソ人への手紙の新しい人は団体的な人であるので、同じ原則で、古い人も団体の人であるに違いありません。わたしたちは教えられ、矯正され、訓練され、教育され、指示されることによってではなく、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによって (23 節)、古い人を脱ぎ捨てる必要があります。わたしたちが思いの霊の中で新しくされつつあるとき、古い人を脱ぎ捨てるだけでなく、「あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された」新しい人を着ます (24 節)。一人の新

しい人はキリストの中で創造されましたが、あなたの上に新しい人の何も存在しないかもしれませぬ。こういうわけで、わたしたちはキリストの中ですでに創造された新しい人を着ること、身につけることをしなければなりません。わたしたちが新しい人を着る方法は、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることによります。

人は霊と魂と体で構成された三部分から成る存在です（Iテサロニケ 5:23）。魂は、思い（詩 13:2、139:14、哀 3:20）、感情（サムエル上 18:1、サムエル下 5:8、詩 86:4）、意志（ヨブ 7:15、6:7、歴代上 22:19）で構成されています。わたしたちが再生された時、神の霊がわたしたちの霊の中へと入って来ました。ローマ人への手紙第 8 章 16 節は、その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを、証しするとわたしたちに告げています。この節は、再生する霊がわたしたちの霊に内住することを強く証しています。神聖な霊はわたしたちの人の霊の中に住み、今や「主に結合される者は、主と一つ霊になります」（Iコリント 6:17）。このことは、その霊としての主とわたしたちの霊とのミングリングを示しています。わたしたちが主に祈り、主と交わり、愛する彼の御名を呼び求め、わたしたちの全存在を彼に開けば開くほど、ますますそのようなミングリングされた霊はわたしたちの思いの中へと拡大して、こうして、わたしたちの思いの霊となります。そのような霊の中で、わたしたちは造り変えのために新しくされます。

思いを新しくするためにその霊を飲むことによって

霊の中で満たされる

エペソ人への手紙第 5 章 18 節は、霊の中で満たされるようにわたしたちに告げています。酒に酔うことは、体の中で満たされることですが、霊（わたしたちの再生された霊であって、神の霊ではない）の中で満たされることは、キリストで満たされて（1:23）、神の豊満へと至ることです（3:19）。主はわたしたちの霊からまずわたしたちの思いの中へと、次にわたしたちの感情と意志の中へと拡大したいのです。わたしたちの再生された霊は神の内住する霊とミングリングされて、わたしたちの思いの中へと拡大します。このミングリングされたわたしたちの思いの霊の中で、わたしたちは新しくされます。その霊を飲むことは、わたしたちが主に祈り、主の御名を呼び求め、主と交わることによって主に自分自身を開くことです。神の霊は今日、飲むための水です。わたしたちがその霊を飲めば飲むほど、ますます彼はわたしたちを彼ご自身で満たし、そしてますます彼はわたしたちの思いに浸透し、それを造り変えのために新しくします。

一人の新しい人のために思いが新しくされる

わたしは若い信者であったとき、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることは、ただわたしたちのクリスチャンの振る舞いのためであると考えていました。わたしたちは、わたしたちの思いが神の霊によって満たされ、所有され、占有されるようにすることを通して、わたしたちの思いを新しくすることができます。わたしたちは祈り、主と交わり、主の御名を呼び求め、さらには自分の罪を徹底的に告白することをしなければなりません。そのとき、わたしたちは造り変えられ、わたしたちの振る舞いは変えられます。これは真実ですが、わたしたちの思いの霊の中で新しくされることの焦点は、一人の新しい人のためです。

コロサイ人への手紙第 3 章 10 節から 11 節は、わたしたちの必要が次のようなものであると告げています、「新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです」。新しい人の中には、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼も無割礼も、未開人、スクテヤ人も、奴隷も、自由人も何の立場もありません。新しくされることはただ、わたしたちの振る舞いのためではありません。新しくされることはさらに、わたしたちの人種の規定を取り除き、天然の人を取り除くことです。新しい人には天然の人がないだけでなく、どのような天然の人のための可能性も、余地もありません。新しい人にはキリストのための余地があるだけです。新しい人は中国人、日本人、フランス人、イギリス人、ドイツ人、アメリカ人ではありません。新しい人はキリストです。新しい人の中でキリストはすべてであり、すべての中におられるのです。新しい人にはユダヤ人もギリシャ人もあり得ません。いかなる中国人も日本人もあり得ません。新しい人には白人も黒人もあり得ません。わたしたちはみな一人の新しい人の存在のために新しくされる必要があります。

コロサイ人への手紙第 3 章 10 節では、新しい人の創造と更新があります。創造は十字架上で完成されましたが、新しくされることは継続する必要があります。わたしたちは、新しい人が存在するために、新しくされた思いを持つ必要があります。神は新しい人を創造されましたが、新しい人は、新しくされていないわたしたちの思いのゆえに、完全には存在していません。わたしたちの思いは問題です。神の主権によって、わたしは多くの国にいて、多くのさまざまな規定と多くのさまざまな生活の方法を見てきました。さまざまな人種と文化から来た人々が救われることは、彼らの生活の方法に関して新しくされることよりも、はるかに容易です。日本の規定は完全にアメリカ合衆国の規定とは異なります。わたしは旅行したあらゆる所で、自分が訪れた人々の特定の規定に順応しなければなりません。これらのさまざまな規定は、わたしたちの思いがさらに新しくされる必要があるので、いつもわたしたちに対する問題を引き起こします。

わたしたちはみな、神が一人の団体の人を創造されたことを認識しなければなりません。神はその人が彼の心の願いを成就することを必要とされましたが、人は墮落し、分裂し散らされました。分裂し散らされることによって、人は神の御手の中で役に立たなくなりました。今日の状況を見てください。全世界は分裂し散らされた世界になりました。国際連合のほとんどあらゆる総会には、議論、さらには論争があります。世界の現実の状況は、この地の諸国民が連合しているのではなく、分裂しているというものです。社会のあらゆる階層で分裂があります。今日、この地上には分裂が至る所にあります。

ローマ人への手紙第 12 章 2 節は、この時代にかたどられてはいけないとわたしたちに勧めています。このことは、わたしたちが衣服や生活の方法でこの世的であるべきでないという意味だけではありません。この時代にかたどられないことは、それ以上に、わたしたちが分裂の道に従うべきでないことを意味します。ローマ人への手紙第 12 章 2 節とエペソ人への手紙第 4 章 23 節は、新しくされる事柄に関してであり、両方の節ともからだの生活のためです。ローマ人への手紙第 12 章 2 節は言います、「思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか……を、あなたがたが

わきまえるようになるためです」。もしあなたがローマ人への手紙第 12 章の文脈を調べるなら、神のみこころとはからだを持つことであるのを見ることができます。思いが新しくされることは、からだの生活のためです。からだの生活における問題は、さまざまな規定と関係しています。

パウロは天然の人の種類を挙げたとき、そのすべてを含んでいましたが、新しい人の中でそれらには何の余地もありません。ギリシャ人は哲学的な知恵のためです。ユダヤ人は奇跡的なしるしのためです（I コリント 1:22）。割礼はユダヤ人の宗教的な儀式を守る人々を指しています。無割礼はユダヤ人の宗教を顧慮しない人々を指しています。未開人は文化的でない人です。スクテヤ人は最も未開の人と考えられていました。奴隷は売られて奴隷状態になった人であり、自由人は奴隷状態から自由にされた人でした。今日、クリスチャンは人種によって、国籍によって、言語によって、また宗教的な事柄によって分裂させられています。あるクリスチャンは浸水によるバプテスマのためであり、他の人々は滴水礼のためです。このことは、割礼のためか、それとも無割礼のためかというのと何の違いもありません。宗教的な事柄はクリスチャンを分裂させ得ます。他の人々は、クリスチャンの集会在どのように持たれるべきかに関して分裂しました。宗教的な意見はいつもからだの肢体を分裂させます。

わたしたちは天然の思いの中で新しくされる必要があります。それは、わたしたちの思いがその霊で満たされ、その霊で浸透される必要があることを意味しています。その霊はわたしたちの考え方のあらゆる繊維組織を飽和する必要があります。わたしたちの天然の観念によれば、神を礼拝することは非常に静粛で、厳粛なものであるべきです。イスラム教徒やヒンズー教徒でさえ、この観念に同意するでしょう。しかし、主がエルサレムに入って行かれたとき、「弟子たちの群れ全体は、彼らが見てきたすべての力あるわざに対して、歓喜し、大声で神を賛美し始めて言った、『主の御名の中で来られる王は、ほむべきかな！ 天には平和、いと高き所には栄光あれ！』」（ルカ 19:37-38）。何人かのパリサイ人は、弟子たちがそのような方法で、大声で主を賛美しているのを聞いて、主に彼らをかかのように求めました（39 節）。主は彼らに答えて言われました、「わたしはあなたがたに言う。もしこれらの者が黙るなら、これらの石が叫び出すであろう」（40 節）。この特別な箇所における弟子たちからの礼拝は、静粛で厳粛なものではなく、大声で歓喜したものでした。

ある日、ウオッチマン・ニー兄弟とわたしはペンテコステ派の集会に行きましたが、そこで人々は跳びはねたり、転がったり、笑ったり、泣いたり、叫んだりしていました。この集会は荒々しすぎました。ニー兄弟がその集会に関してわたしに言ったすべてのことは、新約聖書の中でわたしたちは集会する方法を告げられていないということでした。ニー兄弟はそのような荒々しい集会に賛成してはいませんでしたが、多くの他のクリスチャンの集会において証明されている死に対してさらに反対していました。

わたしたちは、新しい人には宗教的な規定のための何の地位もないことを見なければなりません。わたしたちがロサンゼルスで 1960 年代初期に集会し、召会生活を持ち始めたとき、ある人々はわたしたちが集会の中で賜物を持っていないとわたしに不平を言いました。わたしはわたしたちの集会が賜物に満ちていると彼らに告げました。コリント人への第一の手紙第 12 章は、召会にとっての最高の賜物が知恵の言葉であり、第二の賜物が知

識の言葉であるとわたしたちに告げています（8節）。主を非常に愛している別の親愛なる兄弟はわたしの所にやって来て、わたしたちの集会を高く評価すると言いました。彼の唯一の問題は、姉妹たちが集会で語ることを彼が容認することができないということでした。彼はわたしの聖書の知識を高く評価しましたが、わたしが集会で姉妹たちに語ることを許すことにおいて間違っていると言いました。わたしは彼が参加した集会において姉妹たちが詩歌を歌っているかどうかを尋ねました。姉妹たちが歌っていると彼が答えたとき、わたしは彼の集会でさえ姉妹たちは詩歌を歌っているので、黙っていないことを彼に告げました。聖書の真理によれば、女は祈ったり、集会で預言したりすることができます（11:5）、権威として教えて、教理を定義したりすることは許されていません（Iテモテ2:12）。

これらの例証は、宗教的な事柄がクリスチャンを分裂させ得ることをわたしたちに示す助けとなります。ある特定のグループは、彼らの集会でピアノを持つか、あるいはオルガンを持つかということについて分裂しさえしました。結局、あるグループはピアノの会衆となり、もう一つのグループはオルガンの会衆となりました。これらはみな、割礼か無割礼か、宗教的か宗教的でないかという同じ範疇にあります。わたしはピアノの会衆のためではなく、オルガンの会衆のためでもありません。わたしは新しい人のためです。

わたしたちが思いの中で新しくされる必要があるのは、ただわたしたちの個人的で倫理的な振る舞いのためでなく、一人の新しい人のためです。今日、多くのクリスチャンがなおも彼らの天然的で、宗教的で、個人的な観念を保持しているのは、彼らとその霊に彼らの思いの中へと拡大していただかないからです。彼らはその霊に彼らの思いを支配していただくとしません。わたしたちはみな自分自身を主に開いて、祈る必要があります、「主よ、わたしはここにいます。わたしは自分の思いを完全にあなたに開きたいのです。わたしの中に入って、わたしを満たしてください。わたしの内側の全存在に浸透し、飽和し、占有してください」。わたしは、もしわたしたちがこのように主に祈るなら、その霊がわたしたちの思いに浸透する道を得られると信じます。その霊がわたしたちの思いに浸透するとき、規定は終わります。その霊がわたしたちの思いを所有し、飽和したとき、わたしたちは黒人も、白人も、中国人も、日本人も、アメリカ人も、イギリス人も、ドイツ人も、フランス人も、イタリア人も、スペイン人も顧慮しなくなるでしょう。わたしたちは集会が騒がしいか、静かであるかどうかを顧慮しなくなるでしょう。わたしたちは一人の新しい人だけを顧慮するようになります。

主の主権によって、この近代科学の時代と政治情勢のゆえに、地球は小さくされました。多くのさまざまな人々は一緒にされました。これは主が行なわれる事です。主がこんなにも多くの文化と人種を一緒にされたにもかかわらず、宗教の中にはなおもとても多くの分裂があります。アメリカ合衆国の中に中国系の長老派教会や韓国系の長老派教会を見ることができます。アメリカ合衆国の中に英国国教会を見ることができます。しかしながら、わたしたちは召会が新しい人であることを認識しなければなりません。この近代的な時代にとっても多くの人種や民族が一緒にされてきたのですが、人々はなおも自分たちを分裂した状態のままにすることを好みます。宗教的な規定のゆえに自分自身を他のクリスチャンと分裂した状態のままにすることは、この時代にかたどられることです。なぜなら、この時代は分裂の時代であるからです。分裂を引き起こすことは、この時代にかたどられるこ

とです。わたしたちはローマ人への手紙第 12 章 2 節を分裂のこの時代にかたどられることのない方法で解釈する必要があります。わたしたちクリスチャンは一です。わたしたちがアメリカ人であれ、イギリス人であれ、フランス人であれ、ドイツ人であれ、イタリア人であれ、ポルトガル人であれ、中国人であれ、日本人であれ、主はわたしたちを一にされました。一人の新しい人の中には天然の人はどのような地位も持っていません。

一人の新しい人が実際的に実現される唯一の道は、わたしたちの思いが新しくされることによります。一人の新しい人は、わたしたちが矯正され教えられることによってではなく、神の霊がわたしたちの考え方に浸透することによって実現され得るのです。神の要素がわたしたちの考え方の中へと入るとき、わたしたちは神が思われるように思い、神が物事を見られる方法で見て、神が状況を考えられるように考えるようになります。そのとき、一人の新しい人が存在するようになります。何の人種も、社会的な階級も、宗教的な違いもありません。キリストは真にすべてであり、すべての中におられます。わたしは、このことがこの地上における主の行動の最新のビジョンであると信じます。主は一人の新しい人を得るために前進しておられます。

新しい人の実際の存在を導き入れる主の行動

主は彼の召会を建造することをマタイによる福音書第 16 章 18 節で預言しました。主が預言されたものは何でも成就されるに違いありません。新しい人の実際の存在がなければ、召会の建造はむなし話になるかもしれません。召会の建造は新しい人の存在にかかっています。もし新しい人が存在するようになれば、疑いもなく、建造された召会がここにあるのです。現在の分裂状態にかかわらず、主は新しい人を得ようとしておられます。主がこの現在の時代に行なっておられるあらゆることは、一人の新しい人の実際の存在をもたらすことです。わたしたちの天然的で宗教的な観念を放棄するために、わたしたちの思いは、ミングリングされた霊によって浸透され、飽和され、所有され、支配される必要があります。そのとき、わたしたちの観念は完全に大きく変えられ、わたしたちはもはやどのような規定も持たなくなります。そのとき、新しい人は存在するようになります。このことは、今日の地上における主の行動です。(ウイットネス・リー全集、1977 年、第 3 巻 (下)、
「一人の新しい人」、第 6 編)